

平成28年度 第4回 高山市総合教育会議 議事録

【日 時】 平成28年12月21日(水) 15時00分～16時45分

【場 所】 高山市役所 2階 201・202会議室

【出席者】 (構成員) 高山市長 國島 芳明
教育長 中村 健史
教育長職務代理者 針山 順一郎
教育委員 打江 記代
教育委員 岡田 悦子
教育委員 野崎 加世子
教育委員 長瀬 信

(構成員以外の出席者)

企画管理部長、教育委員会事務局長、市民活動部長、福祉部長、市民保健部長、
商工観光部長、企画課長、教育総務課長、学校教育課長、文化財課長、
学校給食センター所長、市民活動推進課長、生涯学習課長、スポーツ推進課長、
企画係長、教育総務係長、企画課職員

【会議内容(次第)】

- ・市長あいさつ
- ・教育長あいさつ
- ・議題
 - (1) 前回会議における意見の整理について
 - ・資料① 平成28年度第3回総合教育会議における意見の論点整理
 - ・資料② 平成28年度第3回総合教育会議議事録
 - (2) 高山市教育大綱(案)の策定について
 - ・資料③ 高山市教育大綱(案)
 - (3) 意見交換
- ・その他

【議事要旨】

- (1) 前回会議における意見の整理について

市 長 議題(1)、前回会議における意見の整理について、事務局より説明をお願いします。

企画課長 (資料①、資料②)について説明)

- (2) 高山市教育大綱(案)の策定について

市長 それでは、議題（２）、高山市教育大綱（案）について、事務局より説明をお願いします。

企画課長 （資料③について説明）

市長 基本的には別紙２の高山市教育大綱（案）という１枚のものが主になってくると思いますが、この組み立て方、特に意識してすすめるべき点について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。何かございますか。

長瀬委員 良い大綱（案）を示していただき感謝しております。大綱というのは目標や施策の根本となる方針を定めるもので、詳細な施策を定めるものではないということですが、今回、大綱を策定したことで、実際にこんなことが取り組まれているということが、市民から見ると良いのではないかと考える。

前回の会議で市長から、大綱は１枚のものが良いか、そうではないものが良いかというお話がありましたが、私は周知する・実行する大綱にしていきたいと考えました。周知するという点からいうと、１枚のものが良いと思うので、今回１枚もので大綱を示していただいたのは大変良いと思う。さらに、ライフステージごとに何をすべきかうたっているのが、市民にも分かりやすい。また、実際に実現するためには、そういう項目だけでは不十分で、特に意識してすすめるべき点として繋いでいただいているところも良いと思う。

ただ、特に意識してすすめるべき点のもう一つ右側に、もっと具体的な項目があると良いのではないかと。また、市民憲章と大綱の差別化が必要ではないかと。市民憲章は不易の部分、大綱は流行の部分をも分に含んでいるものなので、不断の見直しが必要で、そういう内容のものがふさわしいと思う。

また、第八次総合計画、教育振興基本計画、子どもにやさしいまちづくり計画などとの整合性をある程度図っていくことも大切であるし、２０２０年の学習指導要領の改訂内容も調べて必要な部分は取り込んでいくことも大切。

別紙２の大綱（案）については非常に良いものであると考えます。

市長 別紙３の右側の部分については、事務局で少し考えておいてください。他に意見はありますか。

針山委員 全体的な流れなどはしっかり出来ている。大綱（案）の中に、「先人の築いてきた・・・」という言葉があるが、今と昔が大きく違うところは、心のほうを少し置き去りにして社会がすすんできたところではないかと感じる。

先般、他の自治体の大綱を見たところ、「米百俵のまち長岡」というのがあった。私の子どものころは、まだ高山が全国的に有名になる前で、観光客が雨宿りをしていると傘を持って行って駅まで送らしようかという姿が自然に見られたと思う。その後、ディスカバージャパンで「心のふるさと飛騨高山」が脚光を浴びていくが、「心が残って、しかも歴史伝統が残っている」ということを感じた。長岡の例も参考にして「心のふるさと飛騨高山」というタイトルを付けたらどうかと思う。

また、別紙②において、生きる力を入れていただいたところは良いと考える。

あと、特に意識してすすめるべき点については、⑦⑨⑩のあたりかと思うが、子どもに耐える力を付けさせることも大切ではないかと。たくましい子どもの育成という視点

も加えられたら良いと思う。

市長 他の委員さんはいかがですか。

打江委員 この大綱（案）の下にあるものは何なのかということをお大事にしてほしいと思う。私たちが高山を愛する一人として、高山の人がいかに生きて行くかを大切にしてほしいと思う。

教育大綱の中で、高山らしさや高山の特色みたいなもの、高山の風土に合った、高山なりの子どもの育て方があると良いのではないかと感じる。もちろんここに入っているとは思いますが、私たちの教育大綱であってほしいし、市民のための教育大綱であってほしいので、例えば「心のふるさと」など、自分たちのものになるようなものが付くと良いのではないかと。

この教育大綱の中には、福祉、教育、労働の分野も入っているので、いろいろな人が関わるのが大事である。

そして、ものづくりは人づくりと良く言われるが、まちづくりも人づくりであり、まちづくりを通して人づくりを進めることでまちが強くなると思う。その部分も大事にしてほしい。

野崎委員 この教育大綱（案）には、全般にわたって、各分野のこと、これまでに総合教育会議で議論したことを、盛り込んでいただいてありがたいことだと思う。

「生まれ来る子どもたち」と表現されたことによって、妊娠期から、もっと言うと、妊娠する前の女性の体、男性の体、自分の体づくりから始まり、乳幼児の子どもたち、児童生徒、社会に巣立つところまで、教育大綱で捉えていることが素晴らしいと思う。

また、私が専門で関わっている福祉や障がい児教育、高齢者まで、いかに市民が健康で暮らしていけるかというところで、市民のための教育大綱であると感じた。

児童生徒の基本方針に、健やかな体のことが入っており、特に意識してすすめるべき点において、⑥の「望ましい食習慣を身につけること」にも繋がっていると思うが、出来ればここに、質の高い睡眠や良好な睡眠の習慣を身に付けるということも加えていただけたらと思う。

⑫の「自ら健康を守る力を身につけること」も含めて、社会に巣立つまでに自分の体を守る教育をして送り出すという、大きな目での捉え方をしてあるのが良いと思う。

細かい言葉づかいについては皆さんと相談したいが、全体としては良く出来ている。

岡田委員 教育委員がこだわってきた、小学校・中学校だけでなく、産まれる前の子どもたちから高校・大学、社会人になるまでを、教育大綱の中に盛り込んでくれたことが本当にありがたかったと思う。

また、学力・態度だけでなく、生きる力についてもずっと気にかけてきたことなので、これを基本方針の中に入れていただけたことも、小中学校だけでなく、幅広い意味で一人ひとりに当てはまることなので、産まれる前から子どもたちが自立するまで長い間、見守っていくことがアピールできる大綱になっていると思う。

特に意識してすすめるべき点を出していただけたので、どういう思いを持ってこの大綱を作っているのかが目に見えるようになっているのではないかと。細かい言葉については少し相談できればと思う。

市長 教育長は何かありますか。

- 教育長 市民憲章と教育大綱の違いについて、実行部分で書き込めるのか書き込めないのか、別紙①の2ページ目と3ページ目をどういう形で公にしていけるのか、どうでしょうか。
- 市長 いろいろご意見をいただきまして、大綱としては大部分の中で評価をいただいていると思います。いくつか質問がありましたので、事務局としていかがですか。
- 企画管理部長 市民憲章と教育大綱の差別化について、別紙③の特に意識してすすめるべき点の右側にあるものについて、子どもにやさしいまちづくり計画、教育振興基本計画、第八次総合計画との整合についてのお話がありましたが、私たちは、教育大綱だけでなく、子どもたちを育てていくうえで、産まれる前から社会へ出るまで一貫して見守っていくということを大切にして大綱の中に盛り込んだものである。その中で、特に意識してすすめるべき点を受けるものとして関連計画、施策、そこに関連する事業をしっかりと見据えたうえで特に意識してすすめるべき点を載せていますので、実行部分については計画、施策、事業の中でお見せしていけるのではないかと思います。
- 大綱の基本方針自体は、そんなに変わるものではないと思いますが、実行の部分で変わってくるのではないかと。学習指導要領の改訂についても⑩の「グローバル化に対応できる子どもたちを育てるということ」で、教育委員会ではすでに来年度から取り組みを検討しておりますし、しっかり先取りをして施策、事業の中で取り組んでいきたいと思っています。
- 市長 基本的な考え方としては、大綱は変わらないものではなく、変わる可能性はあるけれども、基本の柱としてすすめていきたいということ、特に意識してすすめるべき点については、諸施策を固めさせていただいており、ここに書かれてはいないけれども、教育委員会の事業だけでなく、関係する部署の事業の中に網羅されてくるという意味かと思う。別紙1の2ページ目と3ページ目の取扱いについてはどうか。
- 企画課長 教育大綱そのものは、別紙②の1枚になるが、別紙②に至った経過については、市民の方々にお知らせする必要があると考えている。事務局としては、教育大綱は別紙②だが、市民の方々にお知らせしていく中では、今回、お示しした全ての資料をセットにしてお示ししていきたいと考えている。
- 市長 今の考え方についてはよろしいですか。おおまかな話の中では、これを基本にということですが、細かな言葉のことなどについて、意見をお伺いしたいと思います。
- 野崎委員 教育委員の皆さんで相談した中で、①の「協働のまちづくりを通して、社会全体で子どもたちを育むこと」については、「協働のまちづくりを通して」という表現が、まちづくり協議会を通すというような狭いイメージになってしまわないか。あらゆる人たちが、社会全体で、という表現ではどうか。
- ③の「経済的に安定し、安心して子育てできる働き方を確保すること」については、経済的な安定だけでなく、精神的な安定や生活全般が安定することも大切ではないか。あとは、先ほどお話したとおり、良い睡眠についても取り入れていただけたら。
- 打江委員 私も①についてですが、まちづくり協議会の組織を通して子育てするという限定した

印象を受ける。まちづくり協議会だけでなく、いろんな人が関わっていくことが大切なので、もっと広い意味の言葉が良いのではないかと。

長瀬委員 高山市らしさ、高山市としての教育の特色を出していくことも大切だと思う。特に意識してすすめるべき点についてですが、⑩の「新たな時代」より「新しい時代」のほうが良いのではないかと。
また、⑨の「児童生徒の個性や能力を伸ばせるよう指導者の資質を向上させること」について、この部分だけ、指導者のほうに視点があたっているところに少し違和感がある。むしろ、児童生徒にどういう力を付けさせたいのか、ということを書き添えてほしい。その上で、先ほどからお話しておりますが、この右側に、この大綱ができたことで具体的にこういう取り組みができてきているということで、例えば、指導者の資質を向上させることが出てきたら良いと思う。
高山市の大綱の特色は何かと考えたときに、学習指導要領の改訂で小学校に英語教科が入ってくることや高山市が国際観光都市として発信しているのであれば、高山市の児童生徒は他の市町村・都道府県の子どもたちより英語教育に力点を置いているということなど、大綱ができたことで具体的な動きが出てくると、大綱を作った意味合いが市民にとっても見えてくるのではないかと。将来的に見て行くと、高山市を訪れた外国人にも高山は小さい子どもも結構英語が話せるという、高山市の特色が打ち出せるのではないかと考える。

市長 今、いくつか意見をいただきましたが、事務局としてはどうですか。

教育委員会事務局長

耐える力については、⑨の「児童生徒の個性や能力を伸ばせるよう」というところに、いろいろな思いを込めさせていただいたところ。また、高山市の教育の目指すところ、高山らしさは郷土教育であるが、その思いも①に込めさせていただいたところである。「睡眠」「眠育」を入れること、「新たな」を「新しい」に変えること、「指導者の資質を向上させること」の視点については、少し検討させていただきたい。

市民活動推進課長

「協働のまちづくり」についてですが、これは、組織のことではなくまちづくりの状態を表しているものである。いろいろな地域の皆さんであったり、行政であったり、それぞれの皆さんが話し合いをする中で目的を共有し、役割を分担し、取り組んでいく状態、いろいろな人たちがまちづくりに関わっている状態を表しているものである。もっと幅広い概念、まちづくりの将来像を描いている。

教育長 言われることは良く分かるし、その通りだと思うが、現時点で、教育大綱が市民の方々に出て行ったとき、今の状態を協働のまちづくりだと受け止められるのではないかと。

市長 やはり、市民の方がこれを見たときには、まちづくり協議会の組織のことだと受け止められるのではないかと。この言葉をどうするのか、この言葉を省くのか、「全ての市民が参加するまちづくりで」という言葉にするのか。

企画課長 「協働のまちづくり」は、現時点において市民の方々に伝わりにくいということであれば、①は「協働のまちづくりを通して」を削除、③は「経済的に安定し」を削除、

⑥は「食育や眠育などにより望ましい生活習慣を身に付けること」に変更、⑩は「新たな」を「新しい」に変更することでいかがでしょうか。

市長 ⑨の「指導者」の部分についてはどうか。

教育委員会事務局長

環境を整えるということだと考えるが、場面や機会を充実させるということもあると思いますが。

教育総務課長 特に意識してすすめるべき点の右側についてですが、文部科学省の通知にも、大綱は目標や施策の根本となる方針を定めるもので、詳細な施策の策定を求めるものではないとあり、大綱を定めることで各分野の計画、施策、事業の見直しや充実を表れてくると思われる。逆に具体的なものを右側に入れると、この大綱の意味が非常に狭まってしまい、市民の方からするとこれだけしかやらないのかという誤解を招くことにもなるのではないかと思う。大綱としては、大きく捉えて、方向性を示すもので良いのではないかと考える。

市長 「指導者」の件についてはどうか。

教育委員会事務局長

「個性や能力を伸ばせるよう環境を整える」という表現もあると考えるが。

市長 子どもたちの周りにあるものを全般として捉え、それを向上させるという意味にするためには、「指導者」という言葉を入れると「指導者」に限定されてしまうということだったかと思う。教育環境を向上させるという言葉にするということか。

企画管理部長 「個性や能力を伸ばす」という表現をもう少し膨らませ、「指導者」についてはその右側にあるべきものと考えたらどうか。
また、大綱を作ったことで、どういう変化があったのか、こういうところに力を入れていくということは、できるだけ配慮したいと考える。

企画課長 今の話だが、今回の大綱（案）と資料を作成するにあたって、施策を載せることも考えたが、大綱そのものより、どういう施策を載せるのか載せないのか、あれを載せるならこれも載せる、という議論になってしまったところがある。市民の方々にどのようなメッセージを伝えたいのかを考えたとき、今回の形が良いと考えたものである。もちろん大綱を作って終わりではなく、いかに実施していくか、どう検証していくかが大事であるため、総合教育会議の役割には大綱を協議すること、重点的に講ずべき施策を協議することがありますので、総合教育会議の中でもどういう施策がこの大綱によってすすんでいくのか協議していくという約束のもとで、市民にお示しする大綱としては、このような形を提案させていただきたい。

市長 長瀬委員さん、ご理解いただけますでしょうか。

長瀬委員 わかりました。

- 針山委員 ⑨について、私は指導者の資質を向上させることは非常に大切なことであると思う。私の個人的な見解としては、ぜひ載せていただき、次の施策のところであらゆる場面で指導者の資質の向上のための取り組みが必要だと思う。ですから、載せていただいても良いのではないかと。
- 長瀬委員 教員が日々研鑽することは当然に必要なことで、いろんな研修をしていると思うが、ただ、ここに出てくることに違和感がある。⑨をどのようにすべきか、良い案が今はないが、やはり、ここには子どもたちに付けさせたい力を載せておいて、教員の資質を向上させる取り組みについては今後も充実していけば良いのではないかと。また、特に意識してすすめるべき点の右側に何かをとってお話したのは、いろんな計画があるのは分かるのだが、この大綱ができたことでこの機会に取り組んでいくことに焦点を当てていけたらという思いであり、右側の部分までパブリックコメントにかけるということではない。大綱を作ったことで、分厚い各種計画の中で今回はどの部分に焦点を当てて全庁的に共通意識を持って取り組んでいくかということと理解していただければありがたい。
- 市長 要するに、実効果が見えることが大事であるということだと思いますので、これからの施策の組み立て方、発表の仕方、評価の仕方というところで、しっかりと検証ができるように、仕組みを作っていたらと思います。⑨の表現についてはいかがですか。
- 商工観光部長 「指導力の向上を図ること」という表現はどうか。
- 針山委員 やはり、「指導力」というより、「資質」の向上が大切ではないかと。
- 教育長 指導者を短絡的に学校の先生というイメージだけにしたくはない。①の「社会全体で子どもたちを育むこと」に繋がっているので、学校の先生だけではない。
- 企画課長 この表現については、もともと教員に限定して作成したものではなかった。保育園や幼稚園の先生、学童や地域でのリーダーなども含めて考えていた。児童生徒を入れたことで学校の先生を連想してしまうのかもしれない。
- 市長 それならば、「指導者」の前に「多様な」という言葉を入れて、「児童生徒」という言葉の代わりに「子ども」という表現にする方法もあると思うが。これについては、事務局にお任せいただけないでしょうか。ここでの議論を踏まえて、最適な案を検討していただき、改めて教育委員さんに確認してもらってください。
- 市民活動部長 ①についてですが、例えば、「全ての市民が協働して、子どもたちを育むこと」など、協働という言葉を使いながら、みんなで子どもたちを育むという表現はどうでしょうか。
- 市長 協働のまちづくりのインパクトが強く市民の方たちに浸透しているので、その言葉を避けたほうが良いのではないかとということだったと思うが。
- 教育長 「協働のまちづくり」と付くと、今のような考えだと思うが、協働の精神性は大切で

あり、社会全体で育むことに繋がる考え方だと思う。高山市の教育は郷土教育であり、それはまさしく社会全体で多様な主体が協働して育んでいくということなので、「協働」という言葉・概念は使ってほしいと考える。

市長 それでは、①は「社会全体で協働し、子どもたちを育むこと」でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

市長 ③の「経済的に安定し」、は削除でよろしいでしょうか。

各委員 はい。

市長 ⑥は「食習慣」に限らず「生活習慣」に変えるということと、「眠育」という言葉も入れるということよろしいでしょうか。

各委員 はい。

市長 ⑨は事務局に修正を任せる。⑩は「新たな」を「新しい」に変更することでよろしいですか。

各委員 はい。

市長 では、他にあれば。

福祉部長 ⑤の「多様な就労形態に対応した保育を整えること」についてですが、就労形態に対応したということだと、就労のために必要な要件のように思われる。本来であれば保育の中身が書いてあったほうが良いのではないかと思うのですが。例えば、多様な子どもたちに対応した保育とか。

市長 事務局としてはいかがですか。

企画課長 いろいろな子どもへの対応については、⑨の「個性や能力を伸ばせるよう」のところで捉えていたのですが、⑤の保育でも述べるということであれば、そのように変えることも考えられます。

福祉部長 変えたほうが良いのではと思いますが。

野崎委員 障がいをもった子どもも含めて、多様な子どもたちに適切な保育ということはすごく大切だと思う。

市長 全体の中で障がいというような言葉が読み取れる部分がないので、そういう意味では良いかもしれない。

企画課長 それでは、⑤をいろいろな個性をもった子どもたちに対応した保育という内容に変えさせていただくことにし、働く上での保育の環境については、③の「経済的に安定し」

という言葉を削除しましたので、「安心して子育てできる働き方」に含まれていると考えたい。

市長 それでよろしいですか。

各委員 はい。

市長 それでは、大綱のタイトルについてですが、「心のふるさと飛騨高山教育大綱」というようなタイトルを付けたらどうか、というご意見に対してはいかがでしょうか。事務局は何か考えはありますか。

企画課長 事務局としても考えましたが「心のふるさと飛騨高山」というのは、観光のキャッチコピーに良く使われるので、外に対して発信するものを作ったと受け止められるのではないかと。今回は純粋に市民がどう捉えるかという点ではあまり色合いを付けないほうが良いのかと考えた。ただし本文では高山市ではなく飛騨高山を使用しました。

教育長 飛騨高山ブランドの最たるものは高山の人であるというのが私の考えであるが、そういう意味でいうと、心のふるさと飛騨高山をぱっと聞くと観光という感じがするが、中を見るとそうではないと分かると思う。

打江委員 外へ出て高山に帰ってくると、ほっとする感じがある。心のふるさととか、やさしさとか、そういうものがあると良いのでは。

長瀬委員 最終的には市民に配布されるのですか。市民にどのような形で出て行くかによって、タイトルの必要性があるかどうかとも変わってくるし、そういう意味では、書体なども違ったほうがより身近に感じられるかもしれない。市民がそばに置いておくということであればタイトルがあると良いかもしれないが、そうでないのなら、必要性はないかもしれない。

市長 私としては、きちっとしたものを打ち出したいという思いがある。例えば、いろんなところで話をしていく中でそういう説明があれば良いと思う。ただし、身近なものにしていくことは大切なので、その手法はまた考えたいと思いますが、今回は入れない形でいかがでしょうか。

各委員 はい。

針山委員 一つよろしいですか。この文面を見ても、家庭、地域、学校、行政のみんなで子どもを育てようというのが少し分かりにくい感じがするが、どうでしょうか。

企画課長 大綱の中に、あえて、「市民の皆さまとともに」という言葉を入れて、その中に家庭、地域、学校、行政みんなでという気持ちを込めたつもりだが、策定の考え方の中に、その部分を少し追記したいと考える。

打江委員 ⑱について、「脈々と引き継ぐこと」という部分は、「引き継ぎ続けること」が大事だと思う。持続可能という視点で「続ける」という言葉を入れることはできないか。

企画課長 続けるという意味で「脈々と」を入れたので、「続ける」が入っても国語的に大丈夫かどうか、確認して対応します。

市長 では、総合教育会議として修正したものを素案としてまとめさせていただき、宿題になったところは、後ほど、各教育委員さんにも確認させていただきますが、この素案を議会にお諮りさせていただき、市民の皆さんの意見をお聞きするという進めさせていただいてよろしいですか。

各委員 異議なし。

市長 ありがとうございます。本日の主たる内容はこれで終わりました。若干の修正等でお問い合わせさせていただくかもしれませんが、最終的な文については、私と教育長で確認させていただくということで、お任せいただいてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。